

パワハラ防止へ ポケット冊子

アトリエエムが作成

わたしが加害者」では「最近は何でもパワハラだと言いつつ」「指導にはアムとムチの両方が必要だ」などの問いに答えながら「自分も加害者になっていないか」と疑う根拠を提示している。そのほか、パワハラにかかわる法律や裁判例を挙げているページもある。

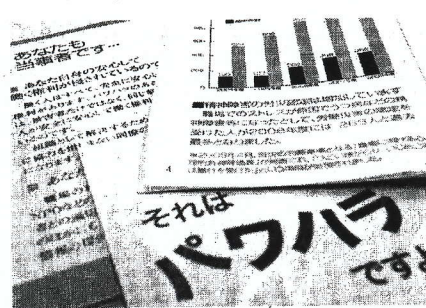
企業や団体のためにパワハラやセクハラのセミナーを実施している会社「アトリエエム」(大阪府吹田市)は、パワハラ防止のためのポケット冊子「みんな、まじめに楽しく働きたい」(B7判変形)を作成した。

「もしかしてわたしが加害者」や「もしかしてわたしが被害者」「もしかしてあなたの同僚が」「もしかしてセカンドハラスメント」のタイトルで、それぞれ9・10のチェック項目を列挙。例えば「もしかして

三木啓子代表は「胸ポケットに入れて、目ざから『これはパワハラではないか』と考えてほしい。何がパワハラに当たるのかを認識することこそが、抑止力になる」と話す。

ポケット冊子は1冊105円。50冊以上、10冊単位で注文を受け付けている。アトリエエムが実施したハラスメント相談員セミナーを収録した2枚組のDVD(計133分)も販売中。5万2500円。

問い合わせはアトリエエム 06・6871・5975



パワハラ防止のためのポケット冊子「みんな、まじめに楽しく働きたい」